

1999年春(3~5月)の東北地方の天候(速報)

- ・太平洋側南部で記録的な高温
- ・太平洋側を中心に多雨

1999年春(3~5月)の天候(図1、図2)

この期間、低気圧と高気圧が交互に通り、天気は周期的に変化した。3月下旬~4月上旬にかけては低気圧の通過後一時的に強い寒気が入り、気温が平年より低くなったが、その他の期間は高温傾向となり、3か月平均気温は太平洋側南部で記録的な高温となった。

また、前線や低気圧の影響を受けやすく、しばしば低気圧が発達して通過したため、太平洋側を中心に多雨となった。

平均気温はやや高い(北部でやや高い、南部でかなり高い)。

降水量はかなり多い(日本海側でやや多い、太平洋側でかなり多い)。

日照時間はやや少ない。

気象官署ごとの春の気象表、順位更新表は別紙(表1、表2)を参照。

3月: 天気は数日の周期で変化した。低気圧が発達しながら通過した5~6日、15~16日、21~22日はまとまった雨や雪となり、各地で暴風となった。南部を中心に暖かい日が多かったが、低気圧の通過後は寒気が入り、気温の変動が大きかった。

平均気温は北部で平年並、南部でかなり高い。

降水量は日本海側で平年並、太平洋側でかなり多い。

日照時間は北部でかなり少なく、南部でやや少ない。

4月: 天気は数日の周期で変化した。上旬は低気圧の通過後に寒気が入り、気温は低目に経過した。中旬以降は寒気の南下もなく、暖かい日が多かった。24~25日は、動きの遅い低気圧の影響で太平洋側南部は大雨となり、所々で被害が発生した。

平均気温は北部で平年並、南部でやや高い。

降水量は北部で平年並、南部でやや多い。

日照時間は北部でやや少なく、南部でかなり少ない。

5月: 低気圧や高気圧が交互に通り、天気は短い周期で変化した。太平洋側を中心に暖かい日が多く、月平均気温の極値を更新した地点もあり、4月中旬からの高温傾向が持続した。日照時間も全域で平年を上回った。上旬と下旬は発達した低気圧が北部を通過したため、北部の降水量は平年に比べかなり多かった。

気温は日本海側で平年並、太平洋側でやや高い。

降水量は北部でかなり多く、南部で平年並。

日照時間はやや多い。

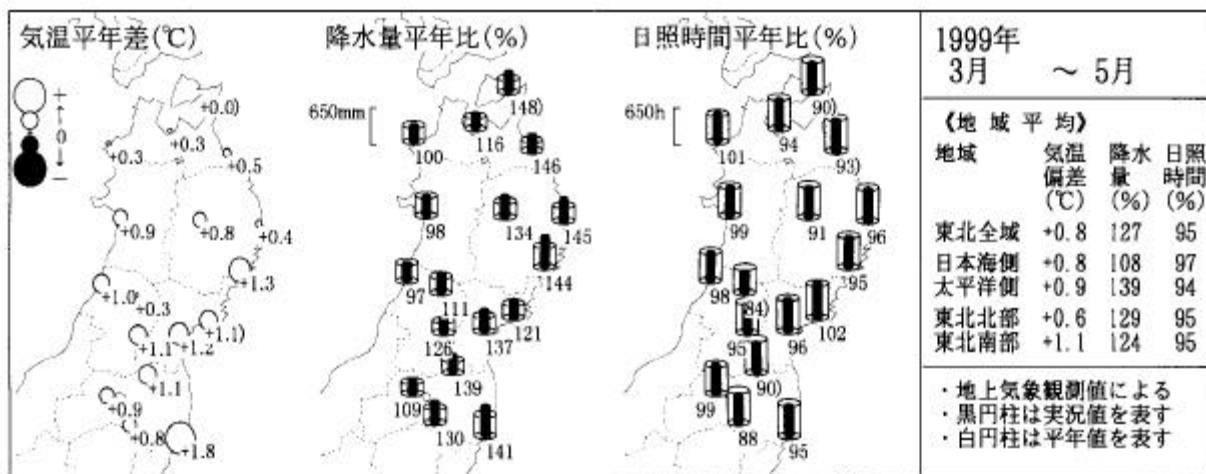


図1 春(3～5月)平均(合計)値の平年差(比)

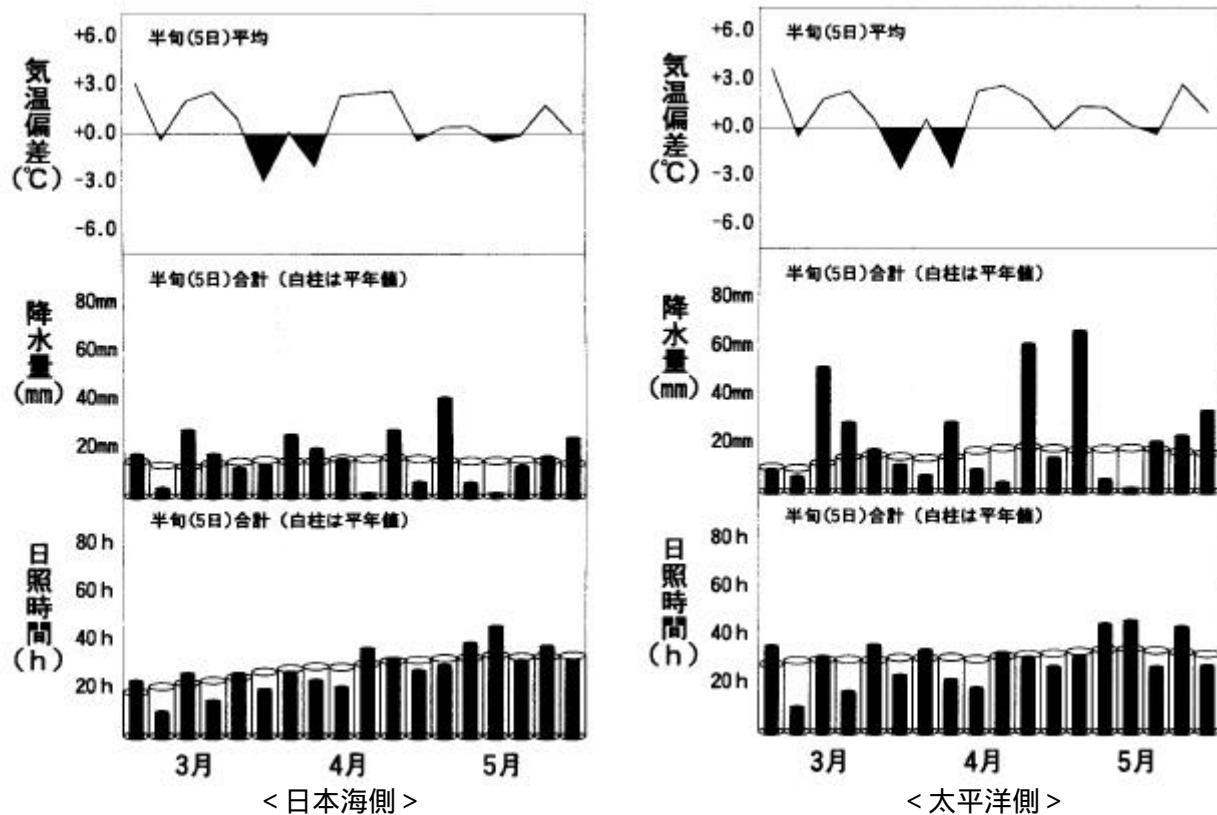


図2 地域平均した平均気温偏差、降水量、日照時間の時系列図(半旬毎)

北半球の大気の流れ(図3)

この期間、日本付近は北海道、沖縄を除いて3か月平均500hPa高度が平年より高く、東北地方の平均気温も南部を中心に平年よりかなり高かった。日本付近はほぼゾーナル^{*1}な流れで、天気は周期変化が基調だった。しかし、沿海州付近に気圧の谷が見られるように、西谷^{*2}傾向となっており、しばしば発達した低気圧の影響を受けた。

* 1 ゾーナル：偏西風の蛇行が小さい状態。低気圧や高気圧が交互に通り、天気は周期変化する。比較的穏やかな天気が多くなる。

* 2 西谷：日本の西側に気圧の谷が形成されている状態。日本付近には南西から暖かく湿った空気が入りやすくなり、低気圧や前線の影響を受けやすい。

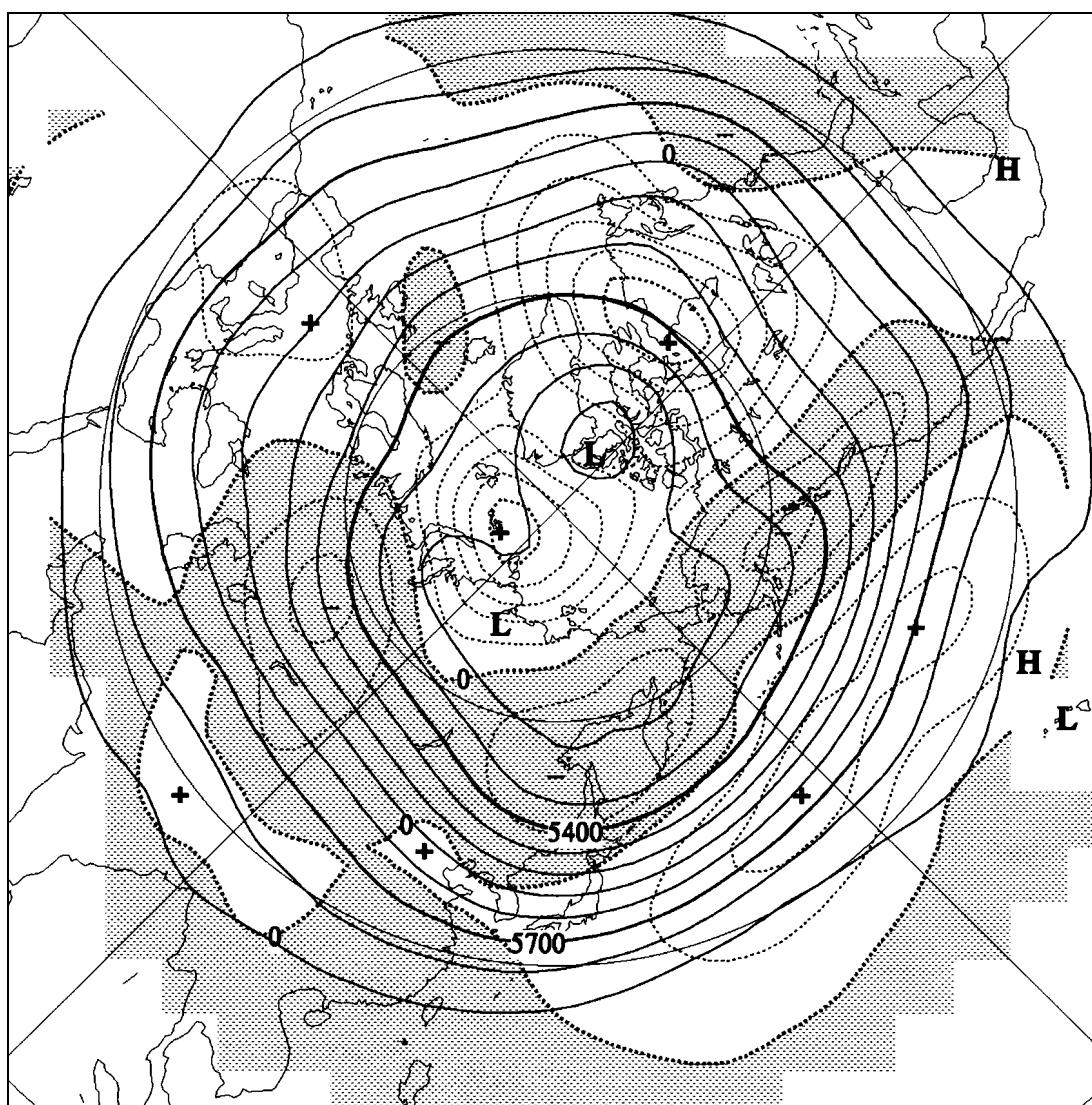


図3 北半球3か月(3~5月)平均500hPa高度
実線は高度(m)間隔60m。破線は偏差(m)間隔20m。陰影部は負偏差域

表1 1999年春(3~5月)の気候表

地点名	平均気温 ()	平年差 ()	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	降水 日数 1mm	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
青森 深浦 むつ 八戸	7.7 8.3 6.8) 8.2	0.3 0.3 0.0) 0.5	○ ○ ○ +	256.0 291.5 367.0) 286.0	116 100 148) 146	+	33 31 36) 30	515.1 501.7 520.1) 549.3)	94 101 90) 93)	- ○ - -
秋田	9.6	0.9		338.0	98	○	32	511.5	99	○
盛岡 大船渡 宮古	8.7 9.8 8.6	0.8 1.3 0.4	+	365.0 544.0 390.5	134 144 145		33 31 27	511.7 534.3 556.3	91 95 96	- - ○
仙台 石巻	10.9 10.0)	1.2 1.1)		370.0 309.5	137 121		27 30	557.0 607.2	96 102	○ ○
山形 新庄 酒田	10.3 8.5 10.4	1.1 0.3 1.0	+	262.0 320.5 304.5	126 111 97	+	34 39 34	511.3 × 500.6	95 × 98	-
福島 若松 白河 小名浜	11.9 10.2 10.1 12.4	1.1 0.9 0.8 1.8	+	313.5 229.0 364.0 531.5	139 109 *** 141	○	24 31 34 32	523.0) 515.0 501.8 545.0	90) 99 88 95	○

(注) 1.「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

○ : かなり高い(多い) + : やや高い(多い)

○ : 平年並

- : やや低い(少ない) ○ : かなり低い(少ない)

「階級」の区分は、1961~90年の30個の各要素の値を大きい方から順に並べ、これを順番に3個(10%) 6個(20%) 12個(40%) 6個(20%) 3個(10%)の5つの群に分け、順にかなり高い(多い) やや高い(多い) 平年並、やや低い(少ない) かなり低い(少ない)の5階級を定義している。

資料年数が短く階級が決められない場合には、「階級」の欄を空欄とした。

2.括弧付きの値は、欠測を含む値であることを示す。また、欠測が多く3か月の値を求められない場合は「×」とした。

3.統計期間が短く平年値が作成できない地点は「***」で表示している。

表2 1999年春(3~5月)の順位更新表(3位まで)

3か月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温	平年差	これまでの最高 (西暦年)	統計 開始年	平年値
1	小名浜	12.4	1.8	12.0 (1997)	1911	10.6
2	大船渡	9.8	1.3	10.1 (1998)	1964	8.5
	仙 台	10.9 *	1.2	11.4 (1998)	1927	9.7
	福 島	11.9 *	1.1	12.8 (1998)	1928	10.8

3か月間降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	統計 開始年	平年値 mm
2	大船渡	544.0	144	650.0 (1977)	1964	377.9
3	盛 岡	365.0	134	405.0 (1977)	1924	271.9

- (注) 1. 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「*」で表す。
 2. 平年値は1961~1990年の30年間の値を平均したもので、24年以上の資料があれば平年値となる。
 3. 白河は統計期間が短いため、1位に該当した時のみ示す。